

様式1

福祉サービス第三者評価結果報告書
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

事業所名称	アルマ保育園		
運営法人名称	社会福祉法人アルマ会		
福祉サービスの種別	保育園		
代表者氏名	園長 藤村 一美		
定員（利用人数）	120名（141名）		
事業所所在地	〒547-0024 大阪府大阪市平野区瓜破4-2-34		
電話番号	06 - 6769 - 5423		
FAX番号	06 - 6769 - 5424		
ホームページアドレス	http://www.alma.ed.jp/alma/index.html		
電子メールアドレス	mmalma@nifty.com		
事業開始年月日	平成14年11月18日		
職員・従業員数※	正規	17名	非正規 15名
専門職員※	保育士：19名 看護師：1名 調理員：3名 栄養士：1名（法人枠アミリア保育園と兼務） 事務長：1名、用務員1名（兼務）		
施設・設備の概要※	[居室]		
	[設備等] 保育室（6室） 遊戯室、調理室、調乳室、沐浴室、 トイレ(5か所)、事務室、		

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

受審回数	0回
前回の受審時期	年度

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

【理念・基本方針】

社会福祉法人アルマ会、アルマ保育園は、姉妹園アミリアがあり、連携を取りながら児童福祉の向上に寄与している。

法人の理念として「子どもたちの幸せを願う」があり、「与える喜び」人との関わりを大切にしながら、子どもの純粋な「こころ」を通し無限の可能性を秘めた未来を担う子どもたちとの関係をとりもつ保育園として最善を尽くすことを理念にかかげている。

基本方針として「心も体も元気な子ども」を育む。「感謝のこころ」「思いやりの精神」「人との関わりあうことの喜びや大切さ」をあげていて、乳幼児保育の中に生かす方針としている。

【施設・事業所の特徴的な取組】

- ・朝7時から夜8時までの長時間保育を実施し、保護者の希望やニーズに対応し、健全育成に努めている。
- ・常勤看護師を配置し、乳幼児の健康増進を計る「年間保健計画」を立案し「保健だより」も毎月発行している。
- ・外部専門講師による「英語教室」「絵画」「ダンス」「体操」「お菓子作り」等の指導を取り入れ、地域開放事業としても取り組んでいる。
- ・世代間交流や地域支援交流を積極的に取り組み、清掃活動を定着させ「地域いきいきだより」も発行し地域貢献活動にも取り組んでいる。

【評価機関情報】

第三者評価機関名	NPO法人ニッポンアクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター
大阪府認証番号	270012
評価実施期間	平成27年10月21日～平成28年3月29日
評価決定年月日	平成28年3月29日
評価調査者（役割）	1401C047（運営管理・専門職委員） 0801C027（運営管理・専門職委員） （ ） （ ） （ ）

【総評】

◆評価機関総合コメント

- ・社会福祉法人アルマ会、アルマ保育園は、姉妹園のアミア保育園と連携を図りながら、法人の基本理念としている「感謝のこころ」「思いやりの精神」「人とかがわりあうことの喜びや大切さ」を保育の中に生かすような行事内容の取組みをしている。
- ・地域に根ざした保育園として、世代間交流や地域交流を積極的に取り組み、地域だよりも定期的に発行し、保育園との交流事業をPRしている。
- ・通用門は機械警備されていて、モニター等で、安全チェックをしている。通用門横には、送迎用の駐輪場・駐車場も確保されている。

◆特に評価の高い点

- ・朝7時から夜8時までの長時間保育を実施し、保護者が安心して就労できる環境づくりをし、延長保育時には補食を提供し、長時間保育児童の健全育成に努めている。
- ・常勤の看護師を配置し、健康増進に努め、乳幼児の耳鼻科健診も取り入れている。
- ・「乗馬体験」や「農業体験」を企画する中で、自然の豊かさにふれ、男性保育士のパワーを保育に取り入れ、豊かな感性を育む取組みをしている。
- ・食堂を一階のホールに確保し、落ち着いた雰囲気です食事をとることができ、また、午睡も別室があり、スムーズにできている。

◆改善を求められる点

- ・住宅密集地に立地しているため、火事、地震等の非常時の持ち出し等の点検や避難経路の確保を再検討し、安全確保について全職員で再認識することが求められる。
- ・0・1歳室と2歳、3歳、4歳、5歳室の建物が分かれているので、安全な保育環境の整備を常に考え、3階に保育室もあるので、非常口や非常階段の点検を切望する。
- ・毎日、職員がミーティングする時間を持ち、子ども達一人ひとりの状況を細やかに把握し、職員の意志疎通をスムーズにし、職員と共に、点検と見直しを進められたい。
- ・園長を補佐する主任を置き、新任職員の指導や保育内容の向上に努め、働き甲斐のある園運営を計っていくことが望まれる。
- ・手作りおやつは、月2回となっているが、子ども達の発育を保障するうえでも、手作りおやつの回数を増やし、安心安全と共に心のこもった食の提供が望まれる。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

理念、保育方針はもとより、保育園運営及び人材育成、保育内容等、業務にかかわる全てのことにおいて職員全員であらためて確認しあい、それぞれの足りない認識を補い合い、意識改革をすることができたと思われます。

職員及び保育園の質の向上を目的とした第三者評価調査で、質の向上に向けた体制がb評価であることを受け、今後は足らなかったスキルアップの取り組みやレポートの評価に力を入れてまいります。

その他にもコメントにてご指摘、ご指導いただきました点を職員間で周知して、会議や勉強会で話し合い理解を深めてまいります。

◆第三者評価結果

- ・別紙「第三者評価結果」を参照

第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

		評価結果
I - 1 理念・基本方針		
I - 1 - (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I - 1 - (1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
(コメント)	理念・基本方針は、重要事項説明書やホームページ、入園のしおりに明文化され、園内にも掲示されている。理念・基本方針は、保育園の使命や役割が反映され、解りやすく記載されている。	

		評価結果
I - 2 経営状況の把握		
I - 2 - (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I - 2 - (1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
(コメント)	保育園の将来を見通し、良質で安全安心な保育業務や経営に努めている。経営状況の分析を行いながら、見直しや変更、職員体制、人材育成、設備の整備を自己分析し、適正かつ正常に機能しているか、確認している。	
I - 2 - (1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
(コメント)	経営状況を把握し、周りの環境や置かれている立場を分析し経営課題を明確にして改善に向けた取り組みを行っている。理事会でも話し合い役員では共有している。しかし、職員への周知も十分にされるように望む。	

		評価結果
I - 3 事業計画の策定		
I - 3 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I - 3 - (1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
(コメント)	中・長期計画は明確にされ、福祉サービスの充実、管理職の育成、労働条件の見直し等に加えて、地域ニーズに対して更なる福祉サービスの向上に向けた、具体的な数値目標等、細かな策定も期待する。	
I - 3 - (1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
(コメント)	中・長期計画を踏まえて、単年度計画はしっかり立案され、人材の確保育成と新制度への移行に伴い対応の検討会の実施や施設改善に向けた取り組みを行い、必要に応じて補正予算を計上するようになっている。	

I - 3 - (2) 事業計画が適切に策定されている。	
I - 3 - (2) - ①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。
(コメント)	事業計画の策定では、計画案を提示し、職員の参画や意見を反映し、組織として機能するよう取り組み、職員が理解し意見が出しあえるような環境を作っている。職員会議録等でも確認した。
I - 3 - (2) - ②	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。
(コメント)	保育内容や行事等について、お便りや掲示物で詳しく周知されている。懇談会は実施されていないが、年2回の保育参加の機会を利用して、面談により保護者の理解を促している。

		評価結果
I - 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
I - 4 - (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I - 4 - (1) - ①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
(コメント)	保育の向上に向け、毎月、園独自の自己評価票等を活用し、本人の評価と管理職のコメントなど踏まえ、評価結果をもとに分析・検討するとともに、PDCAサイクル〔plan（立案・計画）、do（実施）、check（検証・評価）、action（改善）〕を機能させている。	
I - 4 - (1) - ②	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
(コメント)	評価結果から明らかになった保育での対応（言葉かけや投げかけ等）や、施設の活用方法など、すぐにできる改善はすぐに実施し、また、職員と協議して改善策を探り、課題解決に向けた取り組みが実施されている。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

		評価結果
Ⅱ - 1 管理者の責任とリーダーシップ		
Ⅱ - 1 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ - 1 - (1) - ①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を促している。	a
(コメント)	責任者としての役割を職務分掌及び職員会議等で明らかにし、職員にも周知している。質の高い保育を目指し職員間の信頼関係を構築し、文書にも提示され、管理職不在時の権限委任も文書化されている。	
Ⅱ - 1 - (1) - ②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
(コメント)	園長は、遵守すべき法令等について正しく理解し、組織全体に浸透するようにマニュアルを整備し、職員会議等で職員に周知する等の取組を行っている。	

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
II-1-(2)-①	福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
(コメント)	保育園の保育内容の向上に向け、評価・分析を行い、改善に向けた取り組みを明確にし、指導力を発揮している。また、職員に明確に示し、それに向けた具体的な話し合いや保育技術の向上に向けてアドバイスや目的別の研修などに積極的に参加させるなど、質の向上に向けた取り組みを行っていることが、研修記録等で確認できた。	
II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
(コメント)	経営状況やコストバランスの分析を行い、効果的な経營業務の実現を目指し、保育園の将来性や継続性、効果的な活用に向け運営努力していることが、文書や聞き取りの中で確認できた。	

	評価結果
--	-------------

II-2 福祉人材の確保・育成		
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
(コメント)	事業計画・保育計画に沿って、組織を適切に機能させていくような体制の構築や常勤、非常勤、高齢者雇用、有資格者の配置などが適切に取り組みされている。	
II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	b
(コメント)	期待する職員像が明確にされ、職員個々の能力開発、活用、処遇改善が行われている。更に人事の目標管理制度やキャリアパス、昇任・昇格の基準作りなどを行い、総合的な管理が望まれる。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
(コメント)	育児休業の制度も就業規則に織り込む等、必要に応じて制度を改善している。看護師が常勤していることで職員の健康状態についても相談し、傷病手当の制度もあり、職員の健康と安全の確保ができていたことが、個人面談書類やマニュアルにも記載されている。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
(コメント)	年度当初に研修計画を作成し、目標達成にむけて、研修を実施している。更に、職員毎に継続した目標管理の記録を残されると効果が分かりやすいのではないかと。	

II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
(コメント)	職員の意識向上の取り組みや組織が必要としている職員を育てる研修計画の実施はされている。更に教育・研修の成果を分析されると、更に保育園のスキルアップになると思われる。	
II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
(コメント)	職員一人ひとりの研修の計画は、確保されているが、研修内容が一人ひとりのものとなっておらず不十分であり、提出レポートの評価・分析がされておらず今後の取り組みに期待する。	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-①	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
(コメント)	実習生受け入れマニュアルを整備し、組織として態勢を整え、養成校とも連携して取組を進めていることが確認できた。	

		評価結果
II-3 運営の透明性の確保		
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
(コメント)	ホームページ等の活用により、保育サービスの情報公開（アルマ保育園地域いきいきだよりの毎月の発行など）が適切に行われ、英語あそびや乗馬体験、お菓子作りなども地域に公開し、運営の透明性に十分留意している。 今回第三者評価結果も、公表するようにしている。	
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
(コメント)	外部監査を会計事務所に委託し、明確な方針で経営され、法人での会計処理や園費の適切な会計処理も明らかにされているが、より透明性を持つために、保護者への園費の会計報告も適切な方法で行われることを期待する。	

		評価結果
II-4 地域との交流、地域貢献		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
(コメント)	地域に向けて手作りおやつ作りや英語遊び等を公開し、園庭開放も行なっている。また定期的に老人施設との交流を行い、地域への資源の活用を積極的に行っている。	

II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
(コメント)	ボランティア受け入れのマニュアルを整備し、小学生から大学生まで幅広くボランティアの受け入れを行う、積極的な姿勢が確認できた。	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
(コメント)	近隣の社会施設（社会福祉協議会や区民センター、区民ホール）に積極的に出向き、地域活動を園の年間計画に取り入れ、園児や保護者が参加しやすいように企画し交流を深めるように取り組みを行っている。また、関係機関（区役所、警察署、消防署や近隣の小学校）との密接な関係維持の努力がみられ、職員・保護者へも適切な情報共有がされている。	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b
(コメント)	地域の人に向けた講演会は行っていないが、園の行事（節分の集いなど）に地域の親子で参加してもらったり、おやつ作りを地域の人に呼びかけ園内で一緒に作るなどの取り組みが確認できた。また、災害時の役割などについても職員と共通認識を図る取り組みがみられたが、浸水被害の想定と取り組みを期待する。	
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
(コメント)	民生委員や児童委員とも連携し、地域のニーズの把握に努め、自主的な一時保育事業も実施され、地域の人たちへの参加を呼びかけての行事（節分のイベントへの参加やお菓子づくりなど）実施など、積極的に取り組んでいる。	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
(コメント)	保護者に園の理念や基本方針を理解してもらえるように取組を行い、保護者からの意見は職員会議等で協議し、共通理解し、研修結果を踏まえて改善策を取っている。事業所が一体となって取り組む面から組織的な勉強会の実施も考慮されることを期待する。	
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a
(コメント)	プライバシー保護のマニュアルが整備され、職員にも職務規程等や職員会議で徹底を図り、研修参加を促し、利用者のプライバシー保護に取り組んでいる。	

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
(コメント)	保護者や近隣の方が利用しやすいようにホームページや配付文書（ちいきいきいだより）等で知らせ、見学・保育参加の機会をとらえて積極的に情報提供している。	
Ⅲ-1-(2)-②	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a
(コメント)	大幅な変更等が生じる場合は年度当初より知らせ、3か月前に文書等で保護者の選択が可能のように適宜見直している。	
Ⅲ-1-(2)-③	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
(コメント)	小学校への必要書類は保護者の同意を得て作成し、引継ぎや申し送り事項についても記録に残し、保護者や子ども達の不安解消に向け努力している。現在は在籍していないが、障がいのある子どもへの配慮もされていた。	

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。

Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	懇談会は実施されていないが、アンケート調査を行事ごとに行い、保護者の意見を反映した運営に努力している。また、連絡帳での意見集約も行い、職員会議等で協議し、改善策に努めている。今後は、保育参加後の時間等を活用し、懇談会の実施を望みたい。	

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
(コメント)	苦情解決の体制が整備され、意見箱の設置や第三者委員の明示もあり、アンケートの結果も踏まえ、かつて改善を望まれていた施設の整備としての駐輪場の確保なども実施している。	
Ⅲ-1-(4)-②	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a
(コメント)	保護者との信頼関係の構築を大切にしながら、問題に応じた園長や担任との話し合いの場を設け、相談内容に応じて、相談場所を確保することも伝えている。	
Ⅲ-1-(4)-③	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
(コメント)	対応マニュアルが整備され、保護者から担任に伝えられたことは、園長にすぐに報告され、改善策を協議し、保護者一人ひとりの思いが受け止められるように、職員会議等で話し合っている。保育内容にも意見が出せるように、行事ごとにアンケートも実施がされ、保護者の意見が生かされるように取組みを工夫している。	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
(コメント)	リスクマネジメントの対応マニュアルを整備し、責任者の明示及び権限委任の体制表を職員室にも貼り出すなど、組織的な対応を行い、ヒヤリハット集を職員会議等で採り上げ全員のものとなるような取り組みや話し合いの手立てを行っている。	

Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
(コメント)	常勤の看護師の指導のもと、感染症対応マニュアルを整備し、予防のための保健たよりや、発生時の保護者への周知など、取組を行っている。	
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
(コメント)	毎月避難訓練を実施し、安全確保の避難経路や緊急連絡体制の構築、食料、水や日用品の備蓄を行い、関係機関と連携して取組を進めている。	

	評価結果
--	-------------

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-①	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a
(コメント)	保育計画・指導計画など保育の根幹にかかわる一般的なマニュアルは整備され、全職員で周知・確認している。プライバシー保護にも留意し、保護者の意見の収集する手立ても確認でき、職員にも周知している。	
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
(コメント)	日常保育の保育は、保育課程に則り作成された指導計画を基に実践され、月、学期、年度ごとに点検、クラス、園全体で話し合われる等、見直しもスムーズに行われていることが、保育記録等で確認できた。	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	b
(コメント)	一人ひとりの育ちや生活環境をしっかりとらえ、その子の一人ひとりに応じた、指導計画を立案し、また、保育の中で随時点検見直しが行われ、保護者からの話も聞く中で、職員とも共有できるように努めている。今後は、全職員で指導計画が立案し、共有するように努めてほしい。	
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
(コメント)	毎月の見直しが、適切に行われ、子どもの状態に合わせて保育されている。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
(コメント)	日案、週案、月案、年間計画などその時々での評価・見直しが、実施され、その検証に基づく保育の立案実施が、保育記録の中に確認でき、職員間でも話し合いがされている。	
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
(コメント)	保育日誌、児童簿、健康管理記録等、一人ひとりの記録が適切に行われ、記録の管理も、鍵のかかる書庫に保管され、廃棄について、法令に則り適切に行われている。	

児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

		評価結果
A-1 保育所保育の基本		
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a
(コメント)	理念・基本方針に沿って、保育の方針や目標の基本となるよう保育計画を策定し、職員会議等で討議を重ね、方針を周知している。	
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
(コメント)	乳児クラスには、常勤の看護師を配置し、保健指導が適切に行われている。0歳クラスは5分毎、1歳クラスは10分毎の「睡眠時呼吸確認表」等を用いて一人ひとりの日常状態を含めた観察をしている。また、保育室は明るく十分な広さがあり、食事と睡眠のスペースが別に確保されている。	
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
(コメント)	看護師の「年間保健計画」に基づき健康管理を実施し、一人ひとりの子どもに寄り添った言葉かけ、援助をしながら自我の育ちを促している。	
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
(コメント)	友達と協力して遊ぶ楽しさを保育活動の中に取り入れ、子ども達が興味のある遊びを取り入れたり、行事に取り組んでいる。	
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a
(コメント)	保育園の前に小学校があり、授業参観や体験学習の参加等の交流や学校見学等が行事予定に位置付けられ保護者にも知らされており、小学校との連携や協力を深めている。	
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
(コメント)	採光や換気、室温等に気をつけて実施されているが、今後、湿度計等も各クラスに配置し、環境整備してほしい。	
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
(コメント)	自分でしようとする子どもの気持ちを大切に個人差を把握し、一人ひとりに合わせた援助や取り組みの中で、生活習慣が身につくよう保育している。	
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
(コメント)	手話やピアノの練習や生活発表会に向けた場面の小道具等の創作に教材を豊富に取り入れ、意欲的に取り組んでいる。	

A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	a
(コメント)	農業体験、乗馬体験を年間行事の中で位置付け、季節や自然に対する興味を広げる取り組みを実施している。	
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
(コメント)	「スマイル（英語あそび）」「お菓子作り」「絵画」「ダンス」「体操」等、外部講師を入れて取り組み、子ども達の興味のあることを広げ、積極的に活動している。	
A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a
(コメント)	保育士は、毎月の自己評価に基づき保育を見なおし、園長との面談話し合いの後、会議等で検討しあい、職員の意識向上につながるよう努めている。	

		評価結果
A-2 子どもの生活と発達		
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
(コメント)	子ども達への声掛けは分かりやすく、丁寧にそして穏やかに働きかけして、一人ひとりの違いを認め合い理解を深めるよう保育している。	
A-2-(1)-②	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b
(コメント)	今年度は入園希望の障がい児の年齢枠が一杯のため、受け入れ出来ていないが、今後も積極的に受け入れる方針である。	
A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a
(コメント)	長時間保育（朝7：00～夜8：00）を受ける子どもに軽食として、おにぎりが提供され、軽食内容等が明記され、意図的な異年齢交流も行われている。	
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
(コメント)	看護師が配置され、子ども一人ひとりの健康増進や乳幼児保育の充実のため保健計画が立案され、耳鼻科健診も実施している。	
A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
(コメント)	ランチルームが常設されていて、各自ランチョンマットをひいたり、ゆったりと食事を楽しみ、おかわりも自由にして、食べる楽しさを味わっている。	
A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a
(コメント)	個人差に応じて食べる分量を調節しながら「食べられた」ことをほめて保育し、配膳や後片付け等も積極的に子ども達がするよう働きかけている。	

A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
(コメント)	看護師の指導のもとで、健診結果はすみやかに、文書に記入し、保護者にも知らせ、職員間では、情報の共有をし、健康増進の働きかけをしている。	
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
(コメント)	主治医の指示書に基づき除去食を提供し、食器に色別の印をつけてトレー配膳し、必ず職員が側について喫食することを徹底している。	
A-2-(3)-②	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a
(コメント)	定期的に衛生管理や細菌検査も実施し、常に衛生管理を徹底するようマニュアルに沿って実施している。	

	評価結果
--	-------------

A-3 保護者に対する支援		
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	b
(コメント)	全保護者に子どもの食について嗜好調査を行い、献立や味付けの参考にしている。毎月の献立やサンプルの掲示、保護者参加の給食の試食に取り組み食育に力を注いでいる。今後、手作りおやつ回数を増やし、食生活の充実につなげていくことを期待する。	
A-3-(1)-②	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a
(コメント)	子どもの様子や成長等を日頃から送迎時や連絡帳を通じて丁寧に対応し、必要に応じて個別面談等も行っている。	
A-3-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	b
(コメント)	年2回の保育参加や年間行事の中で、子どもの成長や育児について、保護者と共に、理解しあい話し合えるようにしている。今後懇談会を定期的に行い、保護者との信頼関係を一層深める様に努めることを望む。	
A-3-(1)-④	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a
(コメント)	視診や午睡前後の衣服の着脱の時など、子どもの様子の変化をしっかりと把握し、研修等受講した内容などを職員間で共有し虐待の予防に努めている。	

	評価結果
--	-------------

A-4 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	a
(コメント)	「就業規則」等の規定に体罰の禁止を明記し、職員会議等を通して気を付ける事柄を認識しあい、子ども達への不適切な行動や言動を制止している。	

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	アルマ保育園
調査対象者数	47世帯/100世帯 (回収率: 47.0%)
調査方法	郵送によるアンケート調査 送迎時に、保育園より保護者にアンケート用紙を配付し、厳封の上アンケート回収箱に投函し、保育園よりアンケート調査表を、当評価機関に郵送する形式をとった。

利用者への聞き取り等の結果(概要)

アルマ保育園100世帯中47世帯から回答が得られた。

アンケートの結果からは、全体に高い評価がされていることが伺われる。

満足度100%は

- ・入園後も、保育園やクラスの様子などについて、「園だより」、「クラスだより」等を通じて、判りやすく伝えられていますか。
- ・懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。

満足度90%以上は

- ・入園時の説明や、園の子どもたちの様子を見て、子どもを預けることの不安が軽減しましたか。
- ・健康診断の結果について、園から伝えられていますか。
- ・献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていきますか。
- ・給食のメニューは充実していますか。
- ・お子さんの給食の食べ具合は、必要に応じて連絡されていますか。
- ・送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされていますか。

満足度80%以上は

- ・入園前にあなたの都合や要望に合わせた見学を受け入れてくれたましたか。
- ・保育園に入園した際の保育の内容や方法についての説明がありましたか。
- ・保育園の理念や方針について、園から説明がありましたか。
- ・園の保育について、あなたの意見や意向を伝えることができますか。
- ・お子さんや家庭のことについて相談した内容が他人に漏れていたというような経験はないか。
- ・園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありますか。

一方、自由記述によると

- ・園から知らせてほしいことの中に、園費の報告や徴収費用の細かな説明や懇談会の要望が出ていた。

福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

	例
居室	●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等
設備等	●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等